

やまがら

広報

No.624

2013年(平成25年)

4.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

第8回 卒業証書授与式

祝 卒業

みんなへの感謝を忘れず新たな「旅」へ

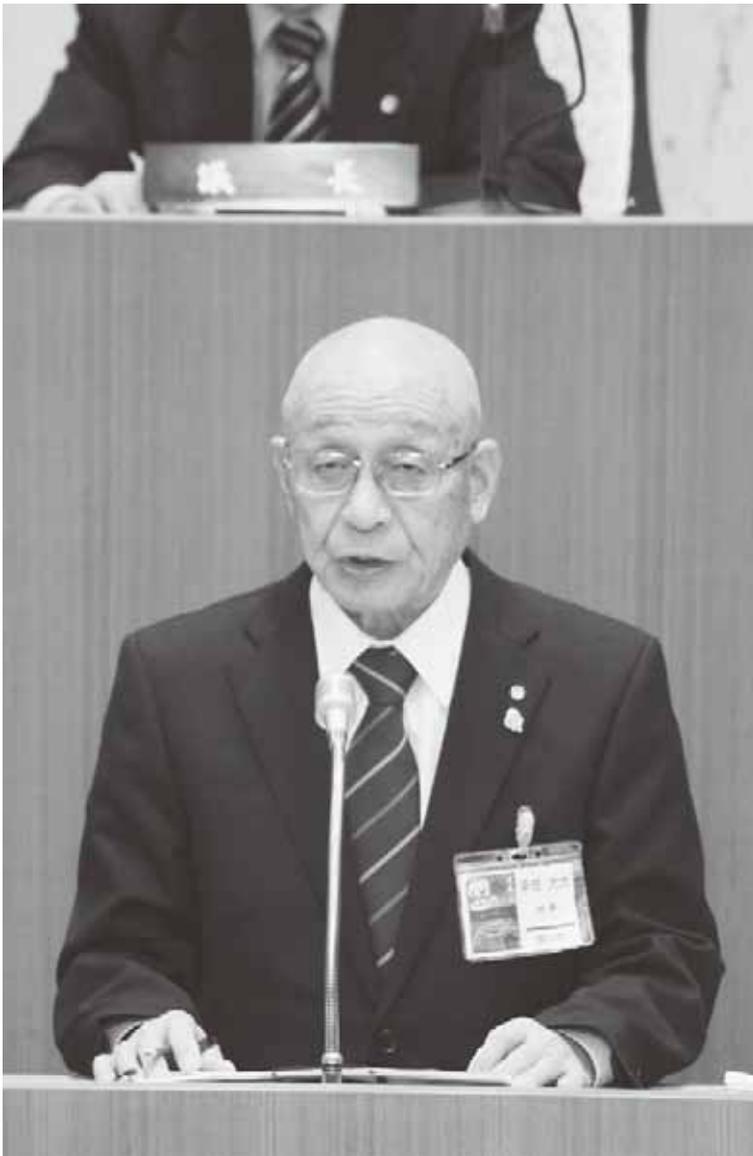
3月8日 関川中学校 第8回卒業証書授与式

※関連記事は18ページに掲載

平成25年度

施政方針説明

3月7日、定例村議会の初日に行われた平成25年度施政方針説明で、平田大六村長が村政運営の基本方針と主要事業について述べました。予算編成を除き、ほぼ全文を掲載しました。予算の説明は8〜12ページをご覧ください。



今年は関川村にとつて周年を迎えることがたいへん多い年となっております。

まず、記録的な大雪となった昭和38年の「三八(さんばち)豪雪」から50年が経過しましたが、近年の大雪傾向に雪対策の重要性をいっそう感じています。

また、30周年を迎えるものとしては、昭和58年全国紙に「ねこちぐら」の記事が掲載されるや注文が殺到し、関川村で「ねこちぐら」という民芸品が作られていることを広く全国に知らしめました。同じ年の3月に「首都圏在住関川村人会」、そして4月に「いで湯の関川ふる里会」が発足しています。

関川村が、住民自らの創意工夫で地域を活性化することを狙いとして、郷単位に「地域コミュニティ組織」を設立する方針を打ち出したのも昭和58年であります。それに基づいて最初に設立されたのは現「霧出コミュニティ」である「霧出郷地区コミュニティ振興協議会」であり、30周年を迎えます。その後、村内9地区全てで設立されました。そのうち「上関コミュニティ」

と「コミュニティ四ヶ字」はそれぞれ20周年、最後に設立された「コミュニティゆさわ」も15周年となります。最近、市町村合併が進められた結果、地域コミュニティに光が当てられるようになり、コミュニティ組織の必要性が全国的に認識されつつありますが、関川村は他に先駆けた取り組みをしており、いっそうその趣旨が具体化されるよう支援してまいります。

昭和63年に第1回が実施された「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」は、地域活性化への取り組みの雄としての関川村を全国的に認知させる役割を果たしました。同じ年の3月に、体育館を新設し既存の公民館と生活改善センターもリニューアルのうえ一体とした施設として発足した「村民会館」も25周年となっております。

市町村合併に加わらないことを宣言したのは平成15年3月の定例村議会初日の施政方針説明の冒頭であります。国際ボランティア学生協会の学生たちが、村出身の学生の提案により来村し交流を始めたのも同じ平成15年であり、そ

れぞれ今年で10周年となりました。自立10周年の節目に、その検証をしたいと考えています。

このように節目を迎えた関川村でありますので、それらを記念して今年は大催しと新たな事業への取り組みをいくつか予定しています。一つはイベントで、「The MATSURIサミットin関川村」であり、また地域資源を活用した木質バイオ発電所事業であります。追って詳細にご説明いたします。

地方財政を取り巻く状況

昨年暮れの政権交代で第2次安倍内閣が発足し、日本経済の再生に向けた緊急経済対策を閣議決定した大規模な平成24年度の補正予算は、2月26日に国会で成立しました。政府は、臨時閣議で補正予算に伴う緊急経済対策を早期に推進することから、総務大臣は2月28日付けで、全国の地方自治体に対し早期執行を要請しています。

エコノミクス（経済対策）に首相の名前を冠したいわゆる

「アベノミクス」は、一つは「市場にたくさんのお金を出す大胆な金融政策」、二つに「政府の支出を増やす機動的な財政政策」、三つが「将来、発展が期待できる産業や事業を育てるための民間投資を喚起する成長戦略」という「三本の矢」でデフレ不況からの脱却をめざすとしており、景気浮揚に国民の期待感が高まっています。

平成25年度の政府予算案は、いま、国会で審議中であります。これに関連して、政府は3月5日、地方交付税法に基づき地方財政計画を国会に提出しました。この地方財政計画は、いわゆる「15か月予算」の考え方に即して、地方の財政運営が安定的に行えるように定め、地方交付税等の一般財源総額を確保するというものであります。村に直接関わりのある通常収支分の計画は、前年度とほぼ同規模の81兆9154億円となりました。財源が不足する自治体に配分される地方交付税は、職員給与が国家公務員のベースを超える自治体については減額するということですが、関川村は県内30自治体中29位、全国で

も最も低い位置にあり、その対象にはならないと考えています。

しかし、国勢調査結果に基づく人口の減少と小学校統合による激変緩和措置の通減などが、村の普通地方交付税が減る要因となり、楽観できない状況であります。

村政運営の基本的な考え方

新年度も、村の基本的な方向を定める第5次関川村総合計画後期計画（基本構想）、並びに村政の基本理念を定める関川村むらづくり基本条例にしたがって村政を執行しますが、何分にも自主財源が乏しいなかでの財政運営でありますので、国や県の動向を見定めた動きにならざるを得ないのが実態です。

私は、ここ数年間、

第1は、村の資源を有効活用し、農業・観光など産業の活性化を図ること

第2は、地域の連帯によるむらづくりと、地域力の維持向上を図ること

第3は、子育てしやすい環境づくりを進めること

という三つを掲げてきましたので、これを継続し村政全般でこの考え方を念頭に置き、村の発展を期したいと思えます。

以下、施策分野ごとに考え方を説明します。

社会基盤と生活環境の整備

政権交代は公共事業への対応にも大きな変化がみられ、日本海沿岸東北自動車道の新潟・山形県境未整備部分の解消が具体化し、また国道113号に沿って進められる地域高規格道路新潟山形南部連絡道路「鷹の巣道路」も進展することが期待されます。

道路整備

老朽防災施設の整備に重点を置く国の施策による促進をいっそう要望します。

村道の改良や補修、消雪施設の補修などにつきましては、各集落から毎年たくさんの方を要望をいただいています。急いで対応すべき箇所についてはここ数年でかなり事業は進んでいると思っておりますが、まだ強い要望がありますので、地方債などの財源確保に努め促進したいと思えます。

交通機関対策

村内の交通機関について、村内の路線バスは地域の利便性の向上のためにお工夫して運行できるように努めます。またJR東日本の米坂線は、沿線住民にとって大切な交通機関であり、将来とも廃線とならないよう、これまでの推進母体であります米坂線整備促進期成同盟会の場で利用しやすい鉄道、利用客の増加対策の両面から運動を進めてまいります。

生活環境の整備

村内のゴミについて、収集

業務は村が業者に委託して行い、焼却などの処理は村上市に委託し実施しています。すでにご報告しておりますように、村上市の新たな処理施設の建設もいよいよ25年度に着手されますので、応分の負担をいたします。

し尿処理を行うために胎内市に設けている下越清掃センター組合は、関係市村の協議により平成25年3月31日をもって組合を解散し、業務を胎内市に委託することになりました。現在のし尿処理施設は、建設にかかる地方債の償還が終了する平成28年度から2年以内に廃止の予定となっております。村では、汲み取り式のトイレがまだかなり存在するため、代替方法をできるだけ早く決定したいと思えます。

下関市内の村営白山平霊園130区画は、残り1区画となつています。墓地埋葬に関する法律により個人的な墓地の新設は制限されているため、村営霊園を設けて使用していただいています。将来需要を考えると増設が必要で、事業の準備を進めます。

東日本大震災発生以後、全国で防災・減災への備えの重

要性が認識され、様々な取り組みが行われています。災害は地震だけではなく、洪水、豪雪、土砂崩れ、強風などいくつもあり、地域の連帯の強化が不可欠であります。また、県内の原子力発電所に対する防災対策も必要であり、情報収集や県内他自治体との連携のもとに、それにも留意しなければなりません。

防災・交通安全

防災についての地域の連携では、各集落や地域で自主防災会をつくり、住民意識を高め、さらにリーダーの技量を磨く研修を行い、そして各種災害を想定した訓練を重ねる必要があります。自主防災会は現在30組織あり、世帯数で見ると組織率は78・1%であります。一時も早く全集落で組織化され、村を挙げて防災訓練ができるようにしたいと思います。

村の消防団は、昨年の4月から7分団制から3分団制に移行しました。消防団幹部の努力と、コミュニティ単位に「地域隊」を設けたこともあって、円滑に団の運営がなさ

れていると感じています。また、老朽化が進む消火栓について、九ヶ谷地区で更新を実施することにしたほか、消防施設の整備に努めます。

交通事故の発生は、全国的に件数、死者数ともに年々減少していますが、交通安全協会など関係団体とも連携して、交通事故撲滅をめざし啓発活動をいっそう推進します。



地域活動と協働

地域活動は、集落やコミュニティ組織、さらには目的を同じくするグループなどが主体となつて行動するのが一般

的であります。すべての問題について行政が細かく対応するには限界があり、協働という考え方が重要となっております。その趣旨について村民のみなさんにいっそうご理解とご協力をいただきたいと思えます。そのためにも、集落とコミュニティ組織との連携強化は重要であり、多面的に支援いたします。

平成22年度から3か年間、村税総額のおおよそ1%に当たる700万円を予算化し、「キラリと光る地域活性化事業」を実施しました。村民のみなさんやグループから自発的な提案をいただき、公開審査により選定していますが、今まで実施した事業や取り組みの効果は大きいと思えます。第1期3年間に37件の申請があり、その中から17件を採択し、1774万5千円の支援をしました。様々な効果が期待されることから、今年度からさらに3年間を第2期として継続いたします。

都市等との地域間

交流の促進

村では、さいたま市との交

流を行っているほか、「いで湯の関川ふる里会」と「首都圏在住関川村人会」、そして「国際ボランティア学生協会（IVUSA）」などとの交流を進めてきました。さいたま市とはまつりサミットがきっかけで交流がはじまりましたのでその関係団体からの提案もあり、また今年は大したもん蛇まつり25周年でしかも巳年ということもあり、「The MATSURIサミットin 関川村」を10月5日から6日にかけて実施することになりました。これには近隣自治体にも出演をお願いするほか、全国各地から著名なまつりグループに参加いただくことにしています。すでに、2月上旬に実行委員会の初会議を開催し、具体的な動きを始めています。今後、若い世代を中心とした実働組織を強化し、具体的な準備を進めることとなります。村の地域資源を活かすこと、関川村の存在を広く全国に発信すること、人材の発掘と鍛錬、産業の振興など数多くの狙いがあり、ぜひとも成功させたいと思えます。

なお、事業費の財源には過疎対策事業債（ソフト分）を見

込んでいます。

昭和58年に発足した「いで湯の関川ふる里会」は30周年を迎え、去る2月24日に東京都内で記念の交流会を開催しました。延べ1万人近い会員のみなさんに加入いただき、会費の総額は3億円に達し、村の経済や文化に大きな役割を果たしてきています。24年度の会員数は今までで一番少ない269人でありましたが、その中には30年間継続して会員となっていた方が10人もおられ、そのほとんどがこれまで関川村に縁の薄い方々でありました。

いで湯の関川ふる里会と同時期に発足した村出身者による首都圏在住関川村人会とともに、今後とも村の大切な応援団となつていただきたいと思います。また、これらの会のみなさんからは、「ふるさと納税」でもたいへんご協力をいただいています。

10年目となる国際ボランティア学生協会（IVUSA）との交流は、今では欠かせない存在となり、関川村を元気にしようという意気込みに感謝しています。若い皆さんと村民の密接な交流を実現し、

その効果に期待したいと思えます。



地域活性化対策

地域活性化の視点から成長戦略を打ち出すため、総務省は大臣を本部長とする「地域の元氣創造本部」を設置しました。自治体を持つ地域産品や景観、再生可能エネルギーなどの地域資源を生かし、地元金融機関の資金と結び付けて、新たなビジネスを創出する方策などを検討するとしており、関係各省庁ともリンクしつつ成果を挙げようとしていますので、その動向にも注目しています。

出生数と死亡者の差を「自然動態」と定義していますが、村は約70人が年々減少しており、さらに「社会動態」での減少も加わり、人口減少が続いています。村で家庭を持つには、働く場を準備することが何にもまして重要であります。企業誘致も重要ですが、期待する企業は簡単に立地しませんし、また立地しても景気動向によつてすぐ撤退するという事例もあります。やはり、村の資源を活用した定着する新たな事業の展開が重要であります。

そこで村では、昨年から太陽光発電事業の誘致、木質バイオ発電事業の立ち上げを進めてきました。一昨年の福島原発の事故発生以来、原子力発電に対する国民の信頼が崩れ、再生可能エネルギーに寄せる期待には大きなものがあります。それは国内の大きな潮流となっております。

太陽光発電事業の誘致については、収支などについて企業側の最終結論がまもなく得られるものと思えます。

木質バイオ発電事業については、鋭意実現に向けて条件整備に努めているところであ

ります。材料となる木材の確保、運営会社の設立と人材の確保、導入する機械の性能など技術の確認、事業資金の確保など課題はたくさんあります。ハードルはありますが、問題点の解決に努め、なんとか実現させて村内での雇用の機会をつくりたいものであります。これについては、状況が進展しました際には、随時議会に報告したいと考えています。

若者の定住・配偶者対策

若者定住対策の一つとして進めている公営住宅「メゾン下関」については、第1期の隣接地に2棟6室を建設しました。3月3日の内覧会には20人余りが来訪し、関心の高さに感心しましたが、まもなく入居者の決定ができるものと思えます。この住宅はリースによる施設で、村の直接の負担が極めて少ないのが特徴であります。

配偶者対策も緊急の課題であります。それぞれ個人の人生に関わることであり、大きな効果を挙げることは難しいのが現状であります。昨年

には、有志のみなさんの自発的な動きがいくつかりました。今後ともそのような動きがいつそう顕著になり、具体的な成果が早く挙がるようになっていきます。

教育・スポーツ・芸術文化

教育

村民のみなさんが健康で生きがいを持ち、元気に過ごしていた、だくことは大切であります。その一端を担う生涯学習は、世代間の交流や生きがいを醸成する役割が期待されますので、指導者を確保し、誰もが気軽に参加できるようにいたします。

地域社会のなかで子どもたちを健やかに育てるには、地域の教育力の強化が重要です。放課後子ども教室は、多くの参加者があり好評ですので、村民のみなさんのご協力を得ながら継続して実施します。

小学校、中学校とも村内1校に集約されましたが、教職員のみなさんの頑張りと保護

者や地域のみなさんの協力により、問題もなく円滑に運営されています。

教育関係施設の整備では、村民会館の外壁塗装工事、大ホール脇のトイレ改修、ふれあいどくむの床面を全面人工芝にすることなどの工事を予定しています。



芸術文化

重要文化財渡邊邸の大規模改修については、26年度までの7年間に8億円を超える継続事業で進められており、引き続き村からも負担し事業の推進に協力します。

福祉・健康・医療

社会福祉・高齢者福祉

高齢者や障がい者の介護が必要になったときに相談窓口となっている地域包括支援センターは、ますますその重要性を増しています。昨年は、介護保険料の問題で全国の注目を浴びました。介護予防を啓発する趣旨で、昨年は介護保険制度を利用していないみなさんにプレミアム商品券を贈呈しましたが、今年も継続して実施します。

これまで村政の柱としてきました子育て支援については、保育園の円滑な運営や中学校卒業までの医療費支援、女子中学生への子宮頸がん予防ワクチン接種の無料化などの対策を今年度も引き続き実施します。また、不妊治療に対する助成については、要件を緩和して支援します。

社会福祉政策では共助・公助という考え方を基本とし、共助では集落、コミュニティ組織の取り組みとともに、村社会福祉協議会などとの連携

のもとにボランティア活動の助長などに努めたいと思っています。

健康づくり・医療

健康づくり運動としては、村民の健康づくりの指針である「健康せきかわ21」に沿って事業を実施しますが、なかでも村民の意識高揚が重要であります。若い時代から生活習慣病などの疾病予防について学んでいただくため、各種の講座や訪問・相談活動の推進に努め、村民挙げて健康づくりができる機運を高め、早期発見、早期治療となるよう、予防活動を進めてまいります。また、村では働き盛りの年代の自殺が多く、人口対10万人での自殺率は県内平均を大きく上回っています。関係機関との連携のもとに、地域での気づきの重要性についての普及啓発など、自殺予防対策に努めます。

国民健康保険事業について、財政を調整するために設置している基金が25年度で底をつくことになりました。国民健康保険税は、現在の村民所得を考えるとおのずと限界があ

るため簡単に増税はできず、たいへん苦慮すべき局面となっています。こういった状況は全国の自治体それぞれに共通しており、国において早急に対策を講じてもらう運動を展開しています。しかし、すぐに状況が好転するとは思えないことから、25年度では初めて一般会計から支援しやつと予算をとりまとめることにしました。



産業振興

農業の振興

ここ数年の気象異変により、

岩船産米の品質は低下しています。24年岩船産コシヒカリの1等米比率は57・0%となりましたが、極端に低い地域を除くと平均は70%台であり、関川村は71・6%にとどまっています。日本穀物検定協会が2月14日に発表した24年産米の食味ランキングによれば、「岩船コシヒカリ」は7年連続で「特A」という評価を得てひとまず安心していきます。

しかし、いま米の産地間競争がいつそう激化しており、山形県産「つや姫」や北海道産「ゆめぴりか」、それに今回最も評価の高かった熊本産「森のくまさん」などといった市場評価の高い銘柄が登場するなど、新潟産コシヒカリといえども楽観できない状況となっています。食味は需要に影響し、米生産目標面積の割り当てに影響することは必至であります。岩船コシヒカリの品質向上のため栽培技術を高めて市場の評価を損ねないように努力しなければなりません。25年度について県から示された関川村の生産目標数量は、引き続き前年に比べて若干ではあるものの減っており、関川村農業再生協議

会で配分などの方針を定め、すでに農家のみなさんには協力をお願いしているところでもあります。

政権交代は農政の基本的な方針を大きく変えるのではないかと思います。どのように変化するのか、注意深く見守り、村の農政に反映させたいと思います。

一方で、政権交代は農業基盤の整備に追い風になるものと期待も膨らみます。県営事業として継続の新堀用水路整備、畷江沢地区圃場整備中山間総合整備事業に加え、女川地域の整備に弾みがつくものと期待されますので、その流れが本物になるよう関川村土地改良区とともに要望活動に努めます。

また、ほ場整備の推進に伴い、埋蔵文化財の調査も必要であり、その準備を整えたいと思います。

林業の振興

近年、林業振興に対する国の関係予算が厚くされ、林業への関心がいつそう高まり、全国的に様々な取り組みが行われています。村では、森林

組合を中心にして推進してきています。間伐については切り捨てから収入を得る方向に補助金制度が転換されつつあります。先に述べた木質バイオ発電事業は、それに沿った動きでもあることから、関川村森林組合とも協力しあい、村内林業の振興を図ります。

また、関川村森林組合が中心となつて進めてきている特用林産物の菌床生しいたけ栽培事業は、一時全県トップの生産量を誇りましたが、各種の要因によつて組合や農家それぞれの経営状況が思わしくないため、心配しています。

平成6年に導入した村内の生しいたけ栽培事業をなんとか建て直そうとしています。経営要素を点検し、その対策を進めますが、その一つとしていま新たな種菌の菌床を導入して実験を始めたところでもあります。それらの状況を踏まえ、森林組合、栽培農家と対策を話し合い、経営の効率化と雇用の機会の増加を模索いたします。

林業振興のために不明確な境界を確定しようとして進めている国土調査について、国の予算も増加することから、中東

について現場作業に入り推進いたします。

商工観光の振興

プレミアム商品券の発行、リフォーム事業の支援、旅館や飲食店の支援について、村内の経済団体の協力により引き続き可能なものについて進めたいと思います。

わかぶな高原スキー場については、昨年全地権者に5年間延長の契約を認めていた、たくことができました。年々客の入込数が増えており、今シーズンも昨年を若干上回る状況であります。

スキー場は、村の冬の観光には欠かせない施設であり、老朽施設の補修を行うとともに、いつそうの繁栄を期待しています。

効率的な行政運営

効率的な行政運営

村上・岩船圏域はもちろん、近隣市町村とは文化・経済・社会などあらゆる分野で協力

関係にあり、またこれを維持することは大切であります。

また、共通の事務を共同で処理する一部事務組合、様々な課題に対し一緒に対応している組織などへの参加も関川村を維持・発展させるには必要であります。

関川村むらづくり基本条例の基本理念は「村民参加の村政」であります。様々な機会を捉えて村民のみなさんのご意見をお聴きして村政に当たりたいと思います。事務の改善は常に行わなければならないことであり、懸案であった戸籍の電算化については今年度から2か年の継続事業として取り組みます。

市町村合併に加わらずに自立する方針を決めて以来10年、職員数や議員定数を削減し続けています。また人件費の削減の観点から、県内最低水準まで常勤、非常勤の特別職、一般職の給与・報酬の引き下げなどを行っています。職員数はピーク時に比べ30数人を削減したため、事務量からして限界となっています。将来の職員の人事構成からみると、一時期に幹部職員多数が定年退職となることもあり、計画

的な人事行政が必要でありま。また、職員一人ひとりの能力を高めて行政事務を処理する必要がある、村のことはもちろん、国内外に関するものなどの情報を共有し、階層別研修への参加、職員研修講座を開催するなど勉強の機会を増やし、前向きな思考で行政が進められるよう自己啓発の機運の醸成に努めます。

役場庁舎の耐震工事については、昨年その診断を行いまして、今後設計に着手したので、今後設計に着手し工事を行う考えです。また防災や庁舎の効率的使用の観点から、2階の旧電話交換室をサーバー室に転換しております。

結びに、様々な課題や問題が山積する村政ではあります。が、先人が築き上げた歴史と伝統を大切に、この愛する関川村を発展させて後世に伝えていくため一生懸命に努力する覚悟であります。

村議会ははじめ村民のみなさんのおいしい、平成25年度の施政方針説明といたします。

平成25年度 当初予算

地域活性化・子育て支援に重点

一般会計予算規模は44億円

一般会計の総額は44億円。庁舎耐震化やふれあいど〜む全面芝改修など工事費の増加をはじめ、全国各地のまつりが関川村に集う「The MATSURI サミットin関川村」の開催、戸籍の電算化などによって、昨年度よりも4億円多い積極型予算となりました。

国の施策と連動して、道路や消雪パイプ、施設の老朽化対策にも重点的に予算を配分。また、不妊治療補助金の要件緩和、小中学校での教員助手増員など、子育て支援や教育環境の充実にも重点を置いた予算としました。

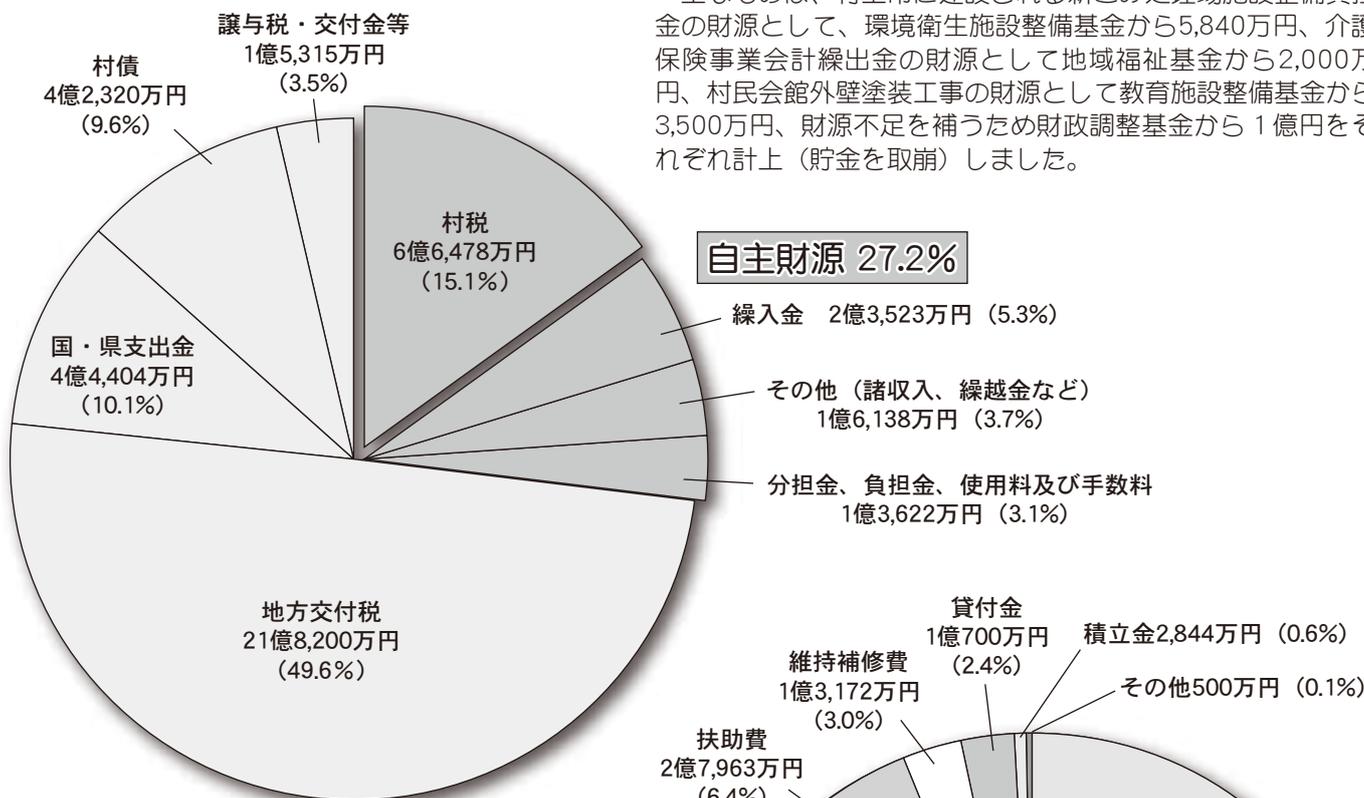
■各会計の当初予算

会計名		平成25年度予算	平成24年度予算	前年比	
				増減額	増減率
一般会計		44億円	40億円	4億円	10.0%
特別会計	国民健康保険特別会計	8億3,500万円	8億1,500万円	2,000万円	2.5%
	国保関川診療所特別会計	5,940万円	5,900万円	40万円	0.7%
	介護保険事業特別会計	10億160万円	9億7,230万円	2,930万円	3.0%
	後期高齢者医療特別会計	6,180万円	6,160万円	20万円	0.3%
	村有温泉特別会計	510万円	510万円	0万円	0.0%
	宅地等造成特別会計	700万円	750万円	△50万円	△6.7%
	簡易水道特別会計	5,900万円	4,020万円	1,880万円	46.8%
	公共下水道事業特別会計	4億9,800万円	4億8,000万円	1,800万円	3.8%
	農業集落排水事業特別会計	1億1,650万円	1億2,060万円	△410万円	△3.4%

水道事業会計		平成25年度予算	平成24年度予算	前年比	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	1億460万円	9,960万円	500万円	5.0%
	支出	1億460万円	9,950万円	510万円	5.1%
資本的収支	収入	2,200万円	0	2,200万円	皆増
	支出	1億974万円	5,320万円	5,654万円	106.3%

歳入 (一般会計)

44億円



依存財源 72.8%

●人件費

人件費は100名分 (村長、副村長及び教育長含む) を一般会計で計上しています。

●繰出金

下水道会計や水道会計など、料金収入で賄いきれない特別会計に対して支出するものです。

その他国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計などに対する、法律に基づいた村の負担金も含まれています。

●公債費

公債費とは借金返済額のことです。関川小学校や防災無線整備の返済がはじまるため、前年度より2,372万円増加しました。

●投資的経費

道路、橋りょうなど各種社会資本の新增設を行う際の経費です。国の社会資本整備総合交付金を活用して、上野新中束線改良や消雪パイプ更新事業、橋りょう長寿命化修繕計画策定など、前年度よりも1億5,000万円増加しています。

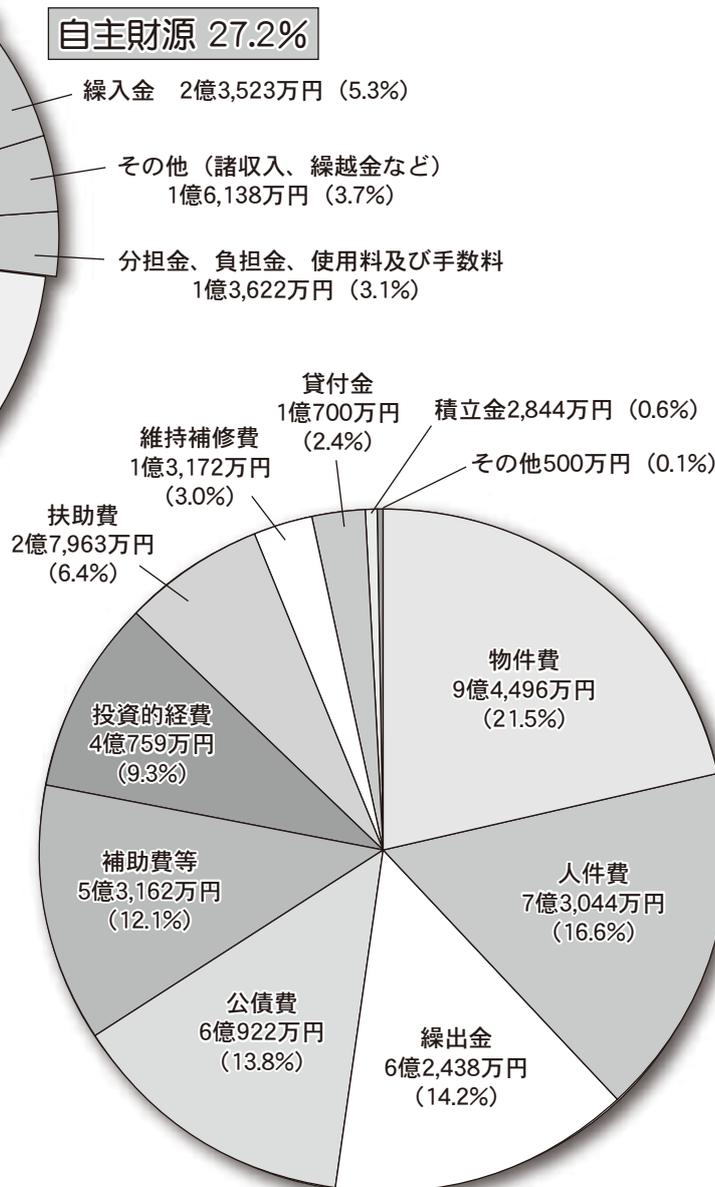
●村税

村税で一番収入が多い固定資産税は4億1,652万円。村民税は1億7,867万円、たばこ税は3,526万円、入湯税は1,800万円、軽自動車税は1,632万円となっています。

固定資産税における大規模償却資産 (鷹の巣発電所等) の減価償却によって、前年度よりも約1,300万円の減額を見込んでいます。

●線入金

主なものは、村上市に建設される新ごみ処理場施設整備負担金の財源として、環境衛生施設整備基金から5,840万円、介護保険事業会計繰出金の財源として地域福祉基金から2,000万円、村民会館外壁塗装工事の財源として教育施設整備基金から3,500万円、財源不足を補うため財政調整基金から1億円をそれぞれ計上 (貯金を取崩) しました。



歳出 (一般会計)

44億円

予算の使いみち



地域活性化

全国各地のまつりが関川村に集う「The MATSUR Iサミットin関川村」の開催経費に3000万円を計上。産業振興と人材育成を目的としています。

キラリと光る地域活性化補助金には700万円を計上。地域が元気になる起業や事業などを応援します。9つのコミュニティへの補助金に260万円、集落で実施するセンターの改修や盆踊りやグラ整備への補助金に180万円をそれぞれ計上し、コミュニティと集落の活動を支援します。

今年で26回目を迎える大したもん蛇まつりへの補助金は、360万円としました。



子育て支援

少子化対策として、年間10万円を上限とした不妊治療補助金に150万円を計上。初期治療から支援できるように、要件を大幅に緩和しました。

妊婦一般健康診査には386万円を計上。安心して出産できるように全額助成しています。

子ども通院・入院医療費助成は、中学校卒業まで通院1回530円、5回目以降は無料、入院は1回12000円の自己負担とする制度継続に1600万円を計上しました。

予防接種の費用にも1600万円を計上し、予防対策に力を入れます。幼児の細菌性髄膜炎による障がい発症を予

防するヒブワクチン接種と、小児肺炎球菌接種費用の全額助成制度を継続。中学1年生女子を対象とした子宮けいがん予防ワクチン接種費全額助成も継続します。



教育環境の充実

小・中学校の通学費には、定期券代1258万円、臨時バス借上料110万円、スクールバス運行費1803万円をそれぞれ計上。外国語指導助手を含む教員助手の配置費には2440万を計上し、小・中学校合わせて13名を確保。県内でもトップクラスの指導体制で、きめ細かな教育環境の充実を図ります。

給食費は、3492万円を計上。放射性物質検査を継続し、提供する食材の安心安全を確保します。村民会館外壁塗装工事に3500万円を計上。公民館2階トイレ改修工事に800

万円を計上し、公共施設を長期的かつ安全に使用できるようにします。部活動などで使用する、ふれあいどくむでは、全面芝改修工事として2814万円を計上、中学校柔剣道場のトイレ改修工事には190万円を計上しました。



医療・福祉の充実

村民が安心できる地域医療体制を確保するため、平日夜間の急患診療（内科・小児科）を村上市に委託します。

また、村上総合病院の休日診療体制の補助金に159万円を計上しました。

高齢者が安心して健やかに暮らすことができるよう、在宅生活を支援する福祉サービスを継続します。

さらに、地域の茶の間事業や元気はつらつ事業など、介護予防対策の充実を図ります。各地区の老人クラブ補助金

に119万円、敬老会開催補助金に240万円をそれぞれ計上。社会福祉協議会への補助金は2377万円としました。障がい者の社会参加を図ることを目的とした福祉タクシ1助成金に113万円を計上。前年度から1人当たりの助成金を増額しています。75歳以上の介護保険未利用者の方に対する商品券代として、330万円を計上しました。



産業の振興

水田利活用推進補助金には1300万円を計上。国の政策に注視しながら対応します。地産地消推進対策費には124万円を計上し、保育園、小学校、中学校への地元農産物の提供をはじめ、あいさい市利用促進事業として出荷手数料の5%を助成します。

農業農村整備事業費には6

03万円、県営土地改良事業負担金は692万円をそれぞれ計上し、土地改良事業の推進を図ります。

林業振興として、森林整備地域活動支援交付金をはじめ、国の政策と連動して総額2894万円の補助金を計上。間伐、作業路開設、高性能の林業機械を導入し、林業活性化を推進します。

商工会補助金として648万円、百縁笑店街事業経費として30万円をそれぞれ計上。経営支援事業をはじめ、空き店舗対策や地域商店街の活性化事業を支援します。また、村内消費拡大を目的としたプレミアム商品券発行事業に570万円を計上しました。

ゆくむの運営に6168万円、村有観光施設の管理費として5272万円をそれぞれ計上し、運営を管理公社に委託します。

わかぶな高原スキー場運営補助金として500万円を計上。駐車場の舗装や電気設備の更新工事として、1725

万円を計上しました。



生活環境衛生の確保

平成27年度稼働予定の村上市新ごみ処理場建設事業負担金を5846万円計上しました。

ごみ処理では、収集委託料に3726万円、村上市へのごみ処理運営費委託料に1960万円をそれぞれ計上。

汚水処理では、胎内市清掃センター委託料2336万円、下水道事業会計（公共下水道・農業集落排水事業）繰出金に3億2236万円をそれぞれ計上しました。

また、安心な飲料水を供給するため、水道事業会計に1750万円、簡易水道特別会計に1163万円をそれぞれ

繰出し、住民の生活環境衛生を確保します。



安心安全の確保

自主防災組織の推進と育成に60万円、要援護世帯への雪下ろし補助金に120万円、集落への除雪機械購入補助金に140万円をそれぞれ計上しました。

国の社会資本整備総合交付金を活用して、橋りょう長寿命化点検と修繕計画策定に1280万円、老朽化した消雪パイプ更新に2500万円、上野新中東線改良に3600万円をそれぞれ計上。村単独事業を含めた道路の改良や維持修繕、消雪パイプの更新、井戸新設などの事業費は、1億4630万円としました。

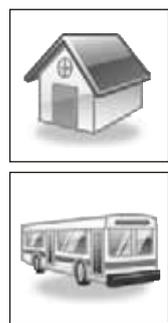
各集落からの要望箇所を確認し、老朽化の程度や必要性の高い所に予算配分しています。近年の局地的豪雨による洪水対策として、住民が安全に

避難できるように、ハザードマップ作成費に400万円、豪雨による浸水被害の危険性が高い下関下町、松平、上川口集落の排水路改修工事に660万円をそれぞれ計上しました。

老朽化している消火栓の更新に2600万円を計上。今年度は九ヶ谷地区を更新します。

また、消防団運営費に2469万円、消防積載車2台購入に840万円をそれぞれ計上し、消防団活動を支援します。

除雪経費は、消雪パイプ電気料や修繕料、除雪委託料など1億686万円を計上しています。



暮らしの充実

住宅リフォーム（改修）の補助金を継続します。20万円以上の改修工事費に対し10%を補助（上限10万円）するもので、村内事業者への発注が条件となっています。

路線バス運行補助金には2050万円を計上。越後下関駅の業務委託料には582万円を計上しました。

戸籍電算化

2か年計画で戸籍電算化を行います。総額7000万円のうち、今年度は3520万円を計上しました。すでに全国の自治体の9割以上が導入しており、これによって、証明書等の交付に要する時間が大幅に短縮されます。

平成25年度当初予算の詳しい数値は、
村のホームページに掲載しています。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

関川村 財政

検索



平成25年度の主な事業内容をお知らせします

議会費

議会活動費	314万円
-------	-------

総務費

行政連絡事務委託料	1,270万円
庁舎耐震化事業費	4,470万円
ハザードマップ作成委託料【新規】	400万円
除雪機械購入補助金【要件緩和】	140万円
村づくり総合推進事業補助金	440万円
越後下関駅業務委託料	582万円
キラリと光る地域活性化補助金	700万円
The MATSURIサミット補助金【新規】	3,000万円
大したもん蛇まつり補助金	360万円
戸籍電算化事業費【新規】	3,520万円
村長選挙費	380万円

民生費

村社会福祉協議会補助金	2,377万円
国保会計繰出金	6,680万円
後期高齢者医療広域連合負担金	1億1,114万円
介護保険会計繰出金	1億6,706万円
後期高齢者医療会計繰出金	2,724万円
老人クラブ補助金	119万円
むつみ荘管理費	669万円
生活支援ハウス（ゆうあい）管理費	1,237万円
地域生活支援事業委託料	1,631万円
下越障害福祉事務組合負担金	797万円
心身障害者福祉タクシー助成補助金	113万円
介護給付費訓練等給付費（心障）	1億47万円
ひとり親家庭医療費助成事業費	366万円
児童手当給付費	8,466万円
保育園管理費	4,796万円
子育て支援事業費	217万円

衛生費

時間外急患診療業務委託料	30万円
病院群輪番制病院運営費負担金	159万円
健康づくり対策費	199万円
成人病予防健診・特定健診委託料	1,282万円
個別予防接種委託料	1,600万円
妊婦健診等委託料	418万円
不妊治療補助金【要件緩和】	150万円
医療費助成事業費（少子対策）	1,600万円
合併処理浄化槽設置補助金	480万円
村内ごみ収集委託料	3,726万円
ごみ処理運営費委託料	1,960万円
胎内市清掃センター委託料（し尿処理）	2,336万円
新ごみ焼却施設建設負担金	5,846万円
水道事業会計補助金	1,750万円
簡易水道会計繰出金	1,163万円

農林水産業費

有害鳥獣駆除対策事業費	316万円
水田利活用推進補助金	1,300万円
地産地消推進対策費	124万円
中山間地域等直接支払交付金	1,669万円
畜産振興費	682万円
国土調査事業費	5,134万円
農業農村整備事業費	603万円
県営土地改良事業負担金	692万円
農業集落排水事業会計繰出金	5,553万円
森林環境保全直接支援事業【新規】	726万円
荒川漁業協同組合補助金	200万円

商工労働費

関川村商工会補助金	648万円
関川村観光協会補助金	1,260万円
プレミアム商品券発行事業補助金	570万円
観光振興対策費	2,240万円
観光施設管理費	7,814万円
ゆ〜む管理委託料	6,168万円
わかぶな高原スキー場補助金	500万円

土木費

木造住宅耐震診断補助金	165万円
住宅改修事業補助金	500万円
道路除雪対策費	1億686万円
橋りょう長寿命化点検等委託料	1,280万円
道路橋りょう維持費（工事費）	1,820万円
道路橋りょう整備費（道路改良工事）	5,100万円
道路橋りょう整備費（消雪施設工事）	5,710万円
道路橋りょう整備費（交通安全施設）	280万円
公共下水道事業会計繰出金	2億6,683万円

消防費

消防団運営費	2,469万円
常備消防運営委託料	1億3,993万円
消火栓更新工事繰出金【新規】	2,600万円
消防ポンプ積載車購入（2台）	840万円

教育費

スクールバス運行事業費	1,803万円
小中学生通学バス定期券購入費	1,258万円
教員助手等臨時雇用賃金【増員】	2,440万円
放課後子ども教室事業費	250万円
村民会館外壁塗装工事【新規】	3,500万円
公民館2階トイレ改修工事【新規】	800万円
せきかわ歴史とみちの館管理費	1,018万円
重要文化財補修等管理事業補助金	1,360万円
ふれあいど〜む全面芝改修工事【新規】	2,814万円
給食費	3,492万円

公債費

地方債元利償還金	5億8,672万円
----------	-----------

人・農地プランを決定しました

人・農地プランとは「人と農地の問題」を解決するための未来の設計図です。

今回、5年先・10年先を見据えた中で、地域における農業の高齢化や後継者不足、耕作放棄地などの問題をどのように解決していくか、農家組合や地区営農委員会等で話し合いを重ね、村が委嘱した6名の検討委員による検討会を経てプランが完成しました。

このプランは必要に応じて、随時更新することとしています。

決定日 平成25年3月8日

作成単位

村内5地区営農単位
 両関・四ヶ字／霧出／七ヶ谷・九ヶ谷／湯沢・川北・高田／女川

中心となる経営体（5地区計）

111経営体（認定農業者、農業法人、新規就農者など）
 法人14・個人97

※各地区に重複している経営体を含みます

その他の農業者

609経営体

各営農地区の

今後の農業のあり方

下記の表をご覧ください。

取組事項	地区の対応				
	両関 四ヶ字	霧出	七ヶ谷 九ヶ谷	湯沢 川北 高田	女川
複合化	○	○	○		○
6次産業化	○		○	○	○
高付加価値化	○	○	○	○	○
新規就農の支援	○	○	○	○	○
その他	法人化			○	
	圃場整備				○



★プランを策定したことで青年就農給付金（経営開始型）・農地集積協力金・スーパール資金の当初5年間無利子化（認定農業者）などの給付が受けられるようになりました。独立自営で新規就農を希望している45歳未満の方、農業をやめて農地を貸したいと思っている方、スーパール資金を活用したいと思っている方で支援を希望される方は農林観光課農林振興班へご相談ください。（TEL 64-1447）

4月6日～4月15日

春の全国交通安全運動

～ 事故ゼロへ ゆとりとマナーの 桜道 ～

新入学（園）シーズンを迎え、新たに通学・通園を始める子どもたちとともに、二輪車などの交通量も増加します。ドライバーも歩行者も一人ひとりが交通ルールを守り、交通安全を心掛けましょう。

運動の重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 自転車の安全利用の推進
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶



4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」

着用していますか？ シートベルト・チャイルドシート

県内の一般道路における運転者のシートベルト着用率は96.8%で全国39位、またチャイルドシートについても6歳未満の使用率が46.5%で全国41位と低くなっています。

シートベルト非着用者の致死率は、着用者の約15倍！
 車に乗ったら、全ての座席でシートベルトを着用しましょう。

チャイルドシート不使用の死亡重症率は、使用の場合の約3.8倍！
 大切な子どもを守るため、必ずチャイルドシートを使用しましょう。

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.1 平成25年度の保険料率について

平成25年度の保険料率は、これまでと変わりません

後期高齢者医療制度は、加入者一人ひとりから保険料を納めていただき、ケガや病気になった方などを高齢者の方を含めた社会全体で支えている制度です。

皆さんから納めていただく保険料は、後期高齢者医療制度の運営や皆さんへの療養費などを支払うための大切な医療費の財源となります。

保険料 (年額) 限度額55万円	=	均等割額 1人当たり 35,300円	+	所得割額 (前年中の総所得金額等 - 基礎控除額33万円) × 所得割率7.15%
-------------------------------	---	---------------------------------	---	--

保険料は、加入者が等しく負担する『均等割額』と、加入者の所得に応じて決まる『所得割額』の合計となります。

平成25年度の保険料率は、平成24年度と同じく『均等割額』が1人当たり35,300円、『所得割率』が7.15%となります。

平成25年度の保険料については、7月中旬に加入者の皆さんにお知らせします。

保険料の軽減について（申請手続きは不要です）

◎所得の低い方への軽減

平成24年中の所得状況に応じて、保険料が軽減されます。

【均等割額の軽減】…世帯の所得状況に応じて『均等割額』が軽減されます。
軽減割合は、同一世帯内の加入者および世帯主（加入者でない方も含む）の所得の合計金額をもとに、下表の基準により判定します。

軽減対象判定基準

均等割額軽減割合	同一世帯内の加入者および世帯主の所得の合計金額	軽減後の均等割額(年額)
9割軽減	33万円以下かつ 加入者全員が年金収入80万円以下(他に所得がない)の世帯	3,530円
8.5割軽減	33万円以下の世帯	5,295円
5割軽減	33万円+(世帯主を除く加入者数×24万5千円)以下の世帯	17,650円
2割軽減	33万円+(加入者数×35万円)以下の世帯	28,240円

※軽減判定時の年金所得計算方法

年金収入 - 公的年金等控除額 - 特別控除15万円(65歳以上のみ) = 年金所得

【所得割額の軽減】…個人の所得状況に応じて『所得割額』が軽減されます。
軽減割合は、加入者個人の所得金額をもとに、下表の基準により判定します。

軽減対象判定基準

所得割額軽減割合	加入者本人の所得金額
5割軽減	保険料算定のもととなる所得金額（総所得金額等から基礎控除額33万円を引いた額）が58万円以下（年金収入のみの場合は、年額211万円以下）

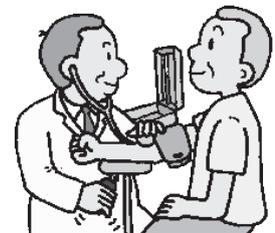
◎制度加入前日において会社の健康保険などの被用者保険の被扶養者であった方への軽減

制度に加入された時から、保険料が軽減されます。（市町村国保や国保組合などの被保険者の方は対象となりません）

軽減内容	
均等割額	所得割額
9割軽減（軽減後の年額3,500円）	かかりません

後期高齢者医療制度にご加入の皆さんへ

人間ドック健診費用助成のお知らせ



村では、平成25年度から後期高齢者医療制度の被保険者の方が人間ドックを受診した際の費用の一部を助成します。

- ◇対象 関川村に住所を有する後期高齢者医療制度の被保険者で保険料を滞納していない方（75歳以上の方、65歳以上で障がい認定を受けている方）
- ◇助成額 1人につき当該年度1回1万円を上限
- ◇助成期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日までの受診
- ◇申込方法 申込書に必要事項を記入してご提出ください。

◇健診機関

下越総合健康開発センター(新発田市)
健康医学予防協会(新潟市)
新潟県健康管理協会(新潟市)
新潟県労働衛生医学協会(新潟市)
みどり病院(新潟市)
村上総合病院(村上市)

- ◇問い合わせ・申し込み先
住民福祉課福祉保険班
☎64-1471

3月定例村議会

会期 3月7日～19日

(主なものを掲載します)

条例の制定

■村議会政務活動費の交付に関する条例の制定について

* 議会議員に交付される「政務調査費」について、地方自治法の改正により対象となる内容の拡大とともに、名称も「政務活動費」に改めるものです。



■新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

* 昨年、新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定され、村でも対策本部条例の制定が義務付けられたことによるものです。

条例の一部改正

■暴力団排除条例の一部を改正する条例

* 関係法令の条文が変わったため条例の一部を改正するものです。

■村税条例の一部を改正する条例

* 東日本大震災の復興に伴う特例法が制定されたため条例の一部を改正するものです。

■村民会館条例の一部を改正する条例

* 安角地区体づくりセンター(旧安角小学校)が老朽化し、普通財産に所属を替えて管理することになったため条例の一部を改正するものです。

■ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

* 県の事業実施要領が一部改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

■地域活動支援センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

* 村地域活動支援センターさくら工房(旧上関保育園)の設置及び管理に関する条例について、関係法令の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

■道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

* 道路法施行令の改正により太陽光発電設備や風力発電設備等が道路敷を使用する場合に占用料の対象となつたため、条例の一部を改正するものです。

事務委託

■し尿処理施設に関する事務の委託について

* 下越清掃センター組合の解散に伴い、当面、胎内市にその機能を委託するものです。

計画の変更

■過疎地域自立促進計画の一部変更について

* 10月に実施する「The MATSURIサミットin 関川村」の財源として、過疎対策事業債のソフト分を充当

する予定にしているため変更するものです。

計画の策定

■霧出南部・七ヶ谷南部・片貝・金丸・桂・朴坂・女川東部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

* 学校統合などで「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」で指定される辺地の要件を備えた地区となり、その計画を策定するものです。

平成24年度補正予算

■一般会計(第10号)

補正額 1億380万円を追加
総額 44億1,250万円

■国民健康保険事業特別会計(第3号)

補正額 100万円を追加
総額 8億4,100万円

■国民健康保険関川診療所特別会計(第2号)

補正額 330万円を減額
総額 5,630万円

■村有温泉特別会計(第2号)

補正額 30万円を減額
総額 610万円

春の異動

*敬称略

村職員

()内は前職

昇任・昇格のみは省略

【退職】(3月31日付)

▽副主幹 堀ツヤ子

▽副主幹保育士 高橋サイ子
(大島保育園)

【異動】(4月1日付)

■総務課

▽参事・総務班長 加藤善彦

■税務会計課
(住民福祉班長)◎昇格

▽主査・税務班 石栗孝子

▽主事補・税務班 佐藤義矩
(住民福祉班)
(新採用)

■住民福祉課

▽主幹・住民戸籍班長

▽主幹・福祉保険班長
中束正子(健康介護班長)

▽主幹・健康介護班長
田村久美子(教育課)

▽主幹・健康介護班長
須貝博子(税務班)◎昇格

▽主査・住民戸籍班

加藤 龍(教育課)◎昇格

▽主査・健康介護班

船山 豊(商工観光班)

◎昇格

▽主査・福祉保険班

渡辺輝章(農林振興班)

◎昇格

▽栄養士・健康介護班

竹田涼花(新採用)

■農林観光課

▽主査・商工観光班

渡部竜也(税務班)

▽主事・農林振興班

渡辺 俊(住民福祉班)
◎昇任

▽主事補・農林振興班

吉田尚史(新採用)

■教育課

▽副主幹 渡辺一洋

(健康介護班)◎昇任

▽主事 石山洋介

(農林振興班)

■保育園

▽副主幹・下関保育園

田村泰子(子育て支援センター)
◎昇任

▽副主幹・子育て支援センター

野本真紀子(女川保育園)
◎昇任

▽副主幹・大島保育園

伊藤厚子(学童保育)

▽副主任・女川保育園

長 里美(下関保育園)

▽主任・学童保育

土田朋子(下関保育園)

教職員

()内は新任校又は前任校

■関川中学校

▽教諭 長谷川恵子

【転出】

▽教頭 丹後直子

(胎内市・築地中学校)

▽教諭 高橋ひろえ

(新発田市・本丸中学校)

▽教諭 長谷川智大

(粟島浦村・粟島浦中学校)

▽教頭 高橋 透

(村上市・荒川中学校)

▽教諭 中久美

(村上市・平林中学校)

▽教諭 五十嵐美穂子

(胎内市・中条中学校)

【新採用】

▽教諭 飯村千尋

■関川小学校

【退職】

▽栄養主査 太田寛子

▽教諭 片平敏範

【転出】

▽校長 川村三千男

(村上市・山辺里小学校)

▽教諭 中村 巖

(村上市・平林小学校)

▽教諭 見原 恵

(村上市・三面小学校)

▽教諭 高橋美紀

(新発田市・猿橋小学校)

【転入】

▽校長 鈴木政信

(県教育庁下越教育事務所)

▽教諭 村山朋代

(村上市・神納小学校)

▽教諭 木村美左子

(村上市・西神納小学校)

▽栄養教諭 渡部美紀子

(村上市・朝日みどり小学校)

【新採用】

▽教諭 日水希美

その他官公署

()内は前任地又は新任地

■関川村商工会

▽経営指導員 小林 仁

(白根商工会)

▽記帳専任職員 本間多喜子
(加治川商工会)

【転入】

▽経営指導員 柏橋 和子
(堀之内商工会)

▽記帳専任職員 佐藤 陽子
(中条町商工会)

■村上市消防本部関川分署

【退職】

▽分署長 蟹井勤次

【転出】

▽副分署長 小島繁光
(予防課)

▽副主任 矢田喬之(警防課)

▽副主任 平山俊満(警防課)

【転入】

▽分署長 近 明(消防署)

▽主任 近藤 満(警防課)

▽副主任 高橋祐介
(荒川分署)

▽消防士 佐野 司(消防署)

■村上警察署下関交番

▽所長 中川信男
(胎内警察署)

▽巡査 箕輪 剛
(柏崎警察署)

【転入】

▽所長 上田榮作(警察本部)



2つの小学校で過ごした 思い出を胸に

春の陽気が心地よくなってきた3月22日、関川小学校で「第3回卒業証書授与式」が行われ、53人の卒業生が晴れの門出を迎えました。

卒業生53人の出会いは3年前。村内小学校の統合に伴い、関川小学校の生徒として新たな学校生活をスタートさせ、たくさんの思い出を作ってきました。川村三千男校長は「関川小が開校してからの3年間、成長する姿をさまざまな場面で見してきました。何事にもあきらめず、やりとげる姿は素晴らしかった。これからは多くの人と出会い、関係を築き、自分自身を大きく広げてほしい」と旅立つ53人の卒業生に言葉を贈りました。

卒業証書授与式の後、ステージ上で将来の夢を語った子どもたち。在校生と一緒に「ピリープ」を声高らかにうたい上げ、新たな一歩を力強く踏み出しました。



関川小学校卒業式



関川中学校卒業式

「ありがとう」 感謝の気持ちを胸に卒業

春の訪れを間近に控えた3月8日、関川中学校で「第8回卒業証書授与式」が行われ、卒業生65人が思い出の校舎をあとにしました。

今年卒業した65人の生徒は、3年前、村内に5つあった小学校の最後の卒業生。5つの小学校から関川中学校へ入学し、3年という時間の中で、たくさんの思い出を作り上げてきました。

卒業生を代表し、小野周平さん（下関）が「この1年間、これが最後なんだと意識しながらグラウンドや新しい体育館でたくさんの思い出を作ってきました。思い出を作ることができたのは65人の仲間がいたから。みんなありがとう。できることなら、同級生、在校生、先生方ともっと長い時間一緒に過ごしたかったです」と感謝の気持ちを込めて答辞を述べました。

新たな一歩を踏み出した65人の皆さん、卒業おめでとうございました。

2月25日、村民会館大ホールを会場に自主防災会研修会が行われ、各集落の区長や自主防災組織の役員など約60人が参加しました。

これは、自主防災会の育成を目的に行われたもので、村として初めての開催。講師はともに防災士の資格を持つ伊藤敏さん（下川口）と佐藤隆平さん（朴坂）が務めました。

研修会では、二人の講師から災害時の避難の知識や自主防災組織の必要性などについて説明があったほか、地域社会のつながりや結びつきを再

認識することが大切だと参加者に訴えました。

研修会に参加した高田集落の須貝英勝区長は「昨年、自主防災組織を立ち上げたばかりなので、まずは地域の皆さんに防災に対する関心を持ってもらうことから始めなければならぬ」と話していました。

現在、村内54集落のうち、30集落で組織化されている自主防災組織。全集落での組織化を目指し、村では今後も研修会等を開催し、組織化を呼び掛けていきます。

安全・安心な地域づくりを 目指して みんなで考える地域防災

自主防災会研修会



3月7日、農村文化交流センターのくむを会場に「認知症講演会」が開催され、村内外から約30人が参加しました。これは、認知症に対する理解を深めてもらうことを目的に行われたもので、講師は胎内市にある介護施設「ちゅーりつぶ苑」の新野直紀さんが務めました。

講演では、現在全国に300万人以上の認知症患者がいることや、ここ10年で認知症の捉え方や考え方が大きく変わったなど現状を説明。また、認知症患者との関わり方につ

いて「病気の特徴を理解し、プライドを傷つけないこと。そして、出来ることを大切にしていけることが重要。認知症患者に安心してもらうためにも身体ではなく心に寄り添うケアを心掛けてほしい」とアドバイスを送りました。

講演会に参加した藏田はな子さん（下関）は「認知症になった方には、寄り添ったケアが必要なんだと思いました。認知症“と”人“という2つの視点で考えるという話を聞いてとても勉強になりました」と話していました。

認知症ケアで大切なこと それは 「心に寄り添う」こと

認知症講演会



上関城400年の歴史に迫る 関川学研究発表会

3月21日、村民会館を会場に関川学研究発表会が行われ、村内外から約40人が参加しました。主催は関川学研究会（伊東正夫会長・下関）。発表会では「上関城400年の歴史」をテーマに渡邊伸榮さん（上関）が講師を務めました。

「上関城」を調べてみるまで、こんなに大変なドラマがあるとは思わなかったと話す渡邊さんは、今から約800年前の鎌倉時代、のちに上関城主となる三浦氏が九州から来任し、廃城となるまでの400年間について、上杉謙信の外交官だったなどの話を交えながら説明。

参加者の須藤和美さん（大島）は「関川村の歴史や自然のことをもっと知りたいと、最近は村民会館の行事によく参加しています。今日の話聞いて、こういう歴史があったんだと本当に勉強になりました」と話していました。



手紙に託した感謝の気持ち ～ 関川小二分の一成人式～

子どもたちの成長した姿を見てもらい、親へ日頃の感謝の気持ちを伝えようと、3月12日、関川小学校で4年生児童を対象に「二分の一成人式」が行われました。

親子の手紙交換では、佐藤大典さん（上野）が「いつもスポ少の送り迎えをしてくれて感謝しています。僕のがまを聞いてくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えると、母親の幸子さんから「お母さんの子どもに生まれてきてくれてありがとう。いつもニコニコ話しかけてくれて家族みんなが笑っているかけがえのない存在です。これから大人になるまでの10年、前を向き努力しながら頑張ってほしい」と愛情たっぷりの言葉を贈りました。

手紙交換では、子どもからの感謝の気持ちに涙を流す親、そして涙を流しながら親の言葉に耳を傾ける子どもたちの姿も見られ、感動的な授業となりました。

**募集
します!**

平成25年度

きつりと光る地域活性化事業

村では、地域課題の解決や地域活性化に取り組む皆さんを応援する「むらづくり総合推進事業」を今年度も実施します。

皆さんの日ごろの想いやアイデアを活かして、次世代に誇れる豊かな村をつくりませんか？



- ◆募集期間 4月1日(月)～5月10日(金)
- ◆対象者 コミュニティ・集落・企業・任意団体・有志など(当村に活動拠点があること)
- ◆対象事業 地域の活性化に寄与する事業
- ◆補助金 総額700万円(補助率最高で100%)
- ◆公開審査 6月頃

【問い合わせ・申請先】

総務課企画財政班 TEL 64-1476

補助額は最高10万円!

平成25年度も住宅リフォーム補助金交付事業を継続します!

村では、昨年に引き続き村民の生活環境の向上を図るとともに、村内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、村内の施工業者によって個人住宅のリフォーム工事(改修・補修・修繕等)を行う村民を対象に補助金を交付します。

補助対象となる工事費

リフォーム工事に要する補助対象額が20万円以上の工事です

補助金の額

補助対象額の10%に相当する金額です

補助金の限度額

補助金は10万円を限度とします

補助対象者について

申請者が所有する個人住宅をリフォームする方で、次のすべての条件を満たす方

- ・村内に住所を有し、住所登録または外国人登録をしていること
- ・村税等、村に対する債務を滞納していないこと
- ・村内施工業者が行うリフォーム工事であること
- ・この補助金を受けたことがない方
- ・補助金の交付決定後、工事に着手し、平成26年3月末までに実績報告書を提出することができること



次の工事は

補助対象になりません

- ◎新築・増築工事
- ◎住宅と一体であっても、店舗・倉庫・車庫などの非居住部分
- ◎耐震改修工事など、他の補助対象制度と重複する工事

住宅リフォーム補助金交付事業に関する問い合わせ先

- ◆事前相談受付に関すること
建設環境課 地域整備班
TEL 64-1479
- ◆書類申請受付に関すること
総務課 企画財政班
TEL 64-1476

学校からのお知らせ

今月は関川小学校からの紹介

全校の心が一つになった 「6年生の卒業を祝う会」

関川小学校では、2月28日(木)に「6年生の卒業を祝う会」を行いました。1年生から5年生までがプレゼントや劇、合唱、合奏などの発表で6年生へのお祝いのメッセージを送り、6年生からも全校への感謝の気持ちを込めた発表のお返しがありました。

当日は、約150名の保護者や地域の皆さんからも参会してもらいました。子どもたちの成長の姿と喜びを感じることができ、会場で全校の心が一つになりました。



大好評! 「おやじの会」 餅つきフェスティバル

恒例となった「おやじの会」餅つきフェスティバルが2月16日(土)関川小学校を会場に開催され、当日は約90名の親子、地域の皆さんから参加していただきました。

おやじの会の方々から餅米の蒸かしや餅つきをしてもらい、また、盛り付けでは、お母さん方の応援もあって皆さんにたくさんのお餅を食べていただきました。お餅のおかわりをする子どもたちもたくさんいて大好評の会となりました。



がんばれ! 関川っ子

このたび、青少年育成関川村民会議(伝信男会長)から、全国大会に出場した選手に記念品が贈られました。

一種目一

■弓道

佐藤 匠
(新発田商業高校3年・高瀬)



平成24年12月24日から26日にかけて、神奈川県相模原市で開催された全国高等学校弓道選抜大会に出場。



サーベイメーターによる放射線測定結果 (一般的な安全基準は0.16マイクロシーベルト以下)

【単位：マイクロシーベルト/毎時】

測定場所	測定値		測定月日時	天候	
	地上10cm	地上1.0m			
下関	下関保育園	0.080	0.070	3月11日 12:00	くもり時々雪
	関川小学校	0.080	0.070	3月11日 15:50	〃
	関川中学校	0.070	0.057	3月11日 16:00	〃
	関川村役場	0.067	0.070	3月11日 16:10	〃
上関	ゆ〜む	0.077	0.060	3月11日 15:40	〃
四ヶ字	辰田新集落センター	0.087	0.083	3月11日 11:50	〃
霧出	大島保育園	0.100	0.077	3月11日 10:15	〃
七ヶ谷	安角ふれあい自然の家	0.083	0.063	3月11日 13:45	〃
	大石ダム	0.073	0.057	3月11日 13:30	〃
九ヶ谷	金丸ふれあい自然の家	0.057	0.043	3月11日 14:50	〃
	鷹の巣温泉駐車場	0.057	0.047	3月11日 14:15	〃
川北	川北ふれあい自然の家	0.097	0.073	3月11日 11:40	〃
	高田ふるさと会館	0.087	0.070	3月11日 10:30	〃
湯沢	高瀬ふるさと会館	0.087	0.067	3月11日 15:30	〃
女川	女川保育園	0.103	0.080	3月11日 10:50	〃
	中東集落センター	0.113	0.087	3月11日 11:10	〃
測定結果	最大値	0.113	0.087		
	最小値	0.057	0.043		
	平均値	0.082	0.067		

村のウォーキング
ロードを
活用しよう！



健康せきかわ21 いきいきライフ

国民健康・栄養調査と県民健康・栄養調査の結果を紹介します

国では国民健康・栄養調査を毎年実施していて、県では県民健康・栄養調査を3年に1回実施しています。この調査は、健康増進法に基づき、国民の身体の状態、栄養素摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施されているものです。

平成24年度は村内の一部の地域が対象となり、11月に調査を実施しました。国や県全体の結果はまとまっていませんが、結果について少し紹介します。

項目	関川村 (一部地域)	県の直近値 (H23)	国の直近 (H23)	国の目標
1日当たりの食塩摂取量	11.3g	10.8g	10.4g	男性9g未満 女性7.5g未満
1日当たりの野菜摂取量	325g	323g	277g	350g以上
1日当たりの乳類摂取量	79g	88g	96g	130g以上
1日当たりの平均歩数 (15歳以上)	男性5,554歩 女性5,503歩	男性6,721歩 女性6,151歩	男性7,174歩 女性6,176歩 (H22)	男性8,600歩以上 女性7,600歩以上
習慣的に喫煙している人の割合 (成人)	男性36.4% 女性 8.3%	男性35.2% 女性 6.5%	男性32.4% 女性 9.7%	男性39%以下 女性 5%以下

塩分摂取量の平均が11・3gと、国県と比較し高くなっています。野菜の摂取量は概ねいいですが、乳類の摂取量が少ないことがわかりました。全く摂取していない人もいたので1日に牛乳か乳製品をコップ1杯程度摂取してもらいたいですね。

1日当たりの平均歩数は男女ともに5,000歩台と少なかったです。喫煙習慣のある人は県平均より高いです。これからの季節は桜や新緑を眺めながらのウォーキングをおすすめです。健康づくりのために生活習慣を見直してみませんか？

4月から「不妊治療費助成事業」の対象治療範囲を拡大します！

平成24年度から開始した特定不妊治療助成事業は、より多くの皆さんにご利用いただけるよう助成の対象治療範囲を拡大します。これにより夫婦それぞれの治療についても申請できるようになります。医療費助成を申請する場合はさまざまな要件等ありますので、詳しくは住民福祉課健康介護班までお問い合わせいただくか、村のホームページをご覧ください。



【問い合わせ先】

住民福祉課 健康介護班

☎ 64-1472

改正前(～平成25年3月)	改正後(平成25年4月～)
「新潟県不妊に悩む方への特定治療支援事業」(体外受精及び顕微授精の保険適用外医療費の自己負担分)対象のみ助成。	「新潟県不妊に悩む方への特定治療支援事業」対象の保険適用外医療費の自己負担分と、人工授精などの一般不妊治療の不妊治療検査及び診療にかかる保険診療費の一部負担金も助成対象になります。

関川村包括支援センター通信 ④2

地域包括支援センター 役場庁舎内1階 ☎64-1473

(全体像)

ここが通い合う福祉と健康が保たれる地域の実現

(個人像)

家庭や地域で生きがいを持ち自分らしく生きる

この理念は、第5期介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画（平成24年から26年）のもので、地域包括支援センターはこの理念が実現できる村を目指して業務にあたっています。

包括支援センターは、保健師3名（臨時含む）、主任介護支援専門員1名の4名体制で、高齢者の介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から総合的に支援を行っています。

お気軽にご利用ください。

①総合相談・支援

高齢者やその家族が抱える悩みや心配事などに対応します。

②介護予防

いつまでも自立した生活を送れるよう、要介護にならないための介護予防教室

や健康教室を開催しています。（一部委託）

③権利擁護

高齢者の権利や尊厳が守られるように成年後見制度の紹介や高齢者虐待の防止を行います。

④暮らしやすい地域づくり

状態が変化した場合でも、医療機関や民生委員、ケアマネージャー等の関係機関と連携し、暮らし続けることのできる地域づくりを行います。

「お知らせ」

地域包括支援センターは、4月1日から役場1階住民福祉課協へ移動します。

ご不便をおかけしますが、よろしくお願います。

健康講座

99

坂町病院と在宅医療

新潟県立坂町病院 内科 近 幸吉

全国平均をはるかに上回るスピードで高齢化が進む当地域において、今後ますます在宅医療の重要性が高まってくることは論を待ちません。

当院では、平成8年4月から訪問診療を開始し、年々件数も増加しています。平成24年度は、訪問診療の担当医師も増員し、月平均20〜30件を数えるまでになりました。

診療所、病院から出向く医療には3つの形態があります。

(1) 電話等で診療所に連絡が入り自宅まで出向き診療する往診 (2) 交通機関の不十分な山間地に集落が点在し、高齢者世帯が多い地域で診察や投薬を行う巡回診療 (3) 寝たきり等の理由で通院が困難な方に対し、定期的に約束した時間帯に自宅を訪問し診察をする訪問診療です。

最近、国は(3)の訪問診

療を政策的にも強く推進しています。しかし、これは単に高騰する医療費を抑制するた

めだけではありません。平成19年度に内閣府が行った『高齢者の健康に関する意識調査』によると、約4割の方が自宅での療養を希望している、終末期の療養場所では、6割〜7割の方が自宅を希望しています。しかしながら現実には、在宅で看取られる方の割合は昭和26年の82・5%から平成21年には12・4%にまで低下してきています。

今後、在宅療養を推進して行くためには家族支援の拡充はもちろんですが、在宅医療・介護供給量の拡充、在宅療養者の後方ベッドの確保・整備、24時間在宅医療体制の構築が必須といえます。

坂町病院は、平成24年12月に新潟県で第5番目の在宅支

援病院として認定されました。現在、関川、中条愛広苑訪問看護ステーションと緊密に連絡をとりつつ24時間体制での訪問診療を開始しています。病院からの訪問診療は重症症例への対応も可能であり、また急変時の入院も訪問診療医が主治医として継続して自らの病院で入院診療でき在宅からのスムーズな移行が可能です。

これまで、当院から訪問診療を継続し最期在宅で迎えられた方々を思い出してみますと、どの方も親しい家族・親戚、近所のお茶の飲み友達に囲まれてとても安らかな顔であったような気がします。人生の最後を、希望通りに慣れ親しんだ自宅で安心して過ごされることは、いい人生であった“というための最も重要な要因である気さえます。今後、坂町病院としては、在宅医療もさらに拡充し地域の皆様のニーズに添えて行きたいと考えています。ご利用をお待ちしております。

*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎62-3111



エアートランポリンに 子どもたちも大喜び!

エンジョイ!
生涯楽習広場&福祉健康フェア

3月10日、村民会館アリーナなどを会場に「エンジンジョイ!生涯楽習広場&福祉健康フェア」が開催され、村内外から大勢の来場者が訪れ会場

は大盛況となりました。当日は、インターネットを使って画面に映し出された人たちと会話が楽しめるウェブカメラチャット講習会や脳年



生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ
TEL 64-2134

高野陽向くん(6歳・下関)は「跳び箱をうまく跳べることでできてうれしかった。トランポリンもたくさん跳べるのができて楽しかった。またやってみたいです」と喜んでいました。

年齢が測定できる健康チェックなど、体験型イベントが盛りだくさん。中でも人気が高かったのは、保育園児から小学校低学年児童を対象に行われた「エアートランポリン体操教室」。インストラクターからエアートランポリンを使った楽しい運動を教わったり、跳び箱に挑戦したり、体を使った遊びに夢中になっていました。



図書室の窓から

村民会館図書室

新しい春がめぐってきました。入学や入園、進級と新しいステージへの第一歩を踏み出す方も大勢いるのではないのでしょうか。図書室にも新しい本がたくさん入りましたので是非おいで下さい。

この本よんで!!

「森のブランコ」

北 恵美子著 山本えりこ絵 Eヤ



まだ雪が残る冬の終わり、早く目覚めたクマじいちゃん、遊びに来るはずの孫のためにブランコを作ります。でもいつまで待っても孫は来ません。子ブタと子タヌキが見かねてある行動を取ります。

今月の1冊

「別れさせ屋の恋:パルフェルム」

新堂 冬樹 著 913円



プロの色事師「別れさせ屋」。政治家の愛人だろうが、トップ女優だろうが落としてきた主人公が清楚で妖艶な対象者に惹かれていく。絶対に落とす男と、絶対に落ちない女の究極の恋のゆくえは。



今月の図書館バス

にじ色と、「汽車」のメロディーが目印です。

高田~沢~女川 方面……………14(日)

大島~片貝~大石 方面……………28(日)

20日出は おはなしのかい
みんなで来てね!!

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使った演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎!無料です!

参加してくれた子どもたちにはかわいいシールをプレゼント!

祝日と毎週水曜日がお休みです。平日は、13時~17時30分まで、土・日は、9時~17時まで開館しています。



室本大河さん
(新発田高校1年・高瀬)

関川中学校を卒業して新発田高校理数科に進学する室本大河さんに話を聞きました。

— 関川中学校での3年間で振り返ってみて、いかがでしたか？

本当に楽しい3年間でした。この3年間、仲間と過ごした毎日が最高の思い出です。また、修学旅行や合唱コンクール、体育祭などいろいろなことができました。そのような場面でたくさんのお話を学べたので、しっかりと活かしていきたいです。

— 関川中学校で共に過ごした仲間たちへメッセージを

毎日、いろいろなことをしてとても楽しかったです。気が付いたら3年生になっていたというほど、あっという間の3年間でした。もっと一緒にいたかったです。今までお世話になりました。本当にありがとう。

— どのような高校生活を送りたいですか？

高校では勉強を頑張りたいと思います。塾へ通ったり、高校で行われる補習などを活かして、良い成績をとりたいと思います。また、勉強だけでなく部活も頑張りたいです。

— 将来の夢を聞かせてください。

将来なりたいものはたくさんあり、まだ悩んでいます。しかし、この高校生活で自分のなりたいものをしっかりと決めて、自分の夢に向かって、頑張っていきたいと思っています。

にいがた被害者支援センターからのお知らせ

にいがた被害者支援センターでは、犯罪被害者やその家族に対して多様な支援を行っています。

- ・ 電話相談、面接相談
- ・ 司法制度、事件捜査、裁判手続き等の説明
- ・ 警察、検察庁、裁判所、病院等への付き添い
- ・ 弁護士、臨床心理士カウンセラーの紹介と付き添い
- ・ 状況に応じ、買い物や掃除、子守り等の一時的な生活支援

【公益社団法人にいがた被害者支援センター】

新潟市中央区上所2丁目2-3

新潟ユニゾンプラザハート館

TEL 025-281-7870 月～金曜日10時から16時

(祝日・年末年始は除く)

秘密厳守・相談無料



大会結果

* 敬称略

第3回 村民ふれあい 綱引き大会

■ 期日 2月24日

■ 会場 村民会館アリーナ

■ 成績

— 一般の部 —

▽ 優勝 川北和楽

▽ 準優勝 レッドブル

九ヶ谷

▽ 第3位 和楽分家

— 小学生の部 —

▽ 優勝 関川つ子



▽ 準優勝 スマイル6

▽ 第3位 ラッキー7

村長杯

男女混合6人制 バレーボール大会

■ 期日 3月17日

■ 会場 関川中学校体育館

■ 成績

▽ 優勝 コーチーズ

▽ 準優勝 役場VBC

▽ 第3位 川北チーム



じっくり心をこめて

スロー フード

109



しいたけのチーズ白和え

村特産品の「あらかわしいたけ」は軸(柄)まで食べられるおいしいしいたけです。

チーズ入りの変わった白和えですが食べやすく、子どもからお年寄りまでおすすめです。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材 料 (4人分)

- ・しいたけ 12枚 ・サラダ油 大さじ1
- ・塩 少々 ・酒 大さじ2

【あえ衣】

- ・絹ごし豆腐 1/4丁 ・クリームチーズ 大さじ2
- ・マヨネーズ 小さじ1 ・塩 小さじ1/2

作り方

- ① しいたけは石づきを除き、6つ割りにする。フライパンにサラダ油を熱し、しいたけを入れて中火でさっと炒める。塩をふってさらに炒め、酒を回しかけ、汁気がなくなったら火を止めて冷ます。
- ② 豆腐は紙タオルで包み、その上に平らな皿をのせて15分間おいて水気をきる。ボウルに入れ、あえ衣のほかの材料をすべて加え、泡だて器でしっかりと混ぜ合わせる。
- ③ ②のあえ衣に①を加え、サックリと和える。

せきかわ文芸

俳句・山柳

俳句

暖かな 明るいのべの つくしんぼ
この寒むさ 梅も桜も まだねてる

大塚 沖正 (下川口)

春めきて 窓の水滴 少し減り
初午や 露店に 酢茎 樽一つ
故郷の 粽の香り 母偲ぶ

横山 一正 (東京都)

短歌

日輪を透かし見る雲細雪
風なき野道を気まゝに歩む

佐藤 庄七
(愛広苑)

震災のテレビ見詰める吾を見て
婆ちゃん泣くなど曾孫の男の子は

須貝 恵美
(高田)

ボイラーの音を聞きつつ湯に入るは
エコに逆らうこちこそする

渡辺千恵子
(上関)

関山俳句の会作品

起しがけの目にとび込むや春の彩
着ぶくれて足の運びもままならぬ
風邪気味と云えばすぐ妻玉子酒

渡辺しづい
渡辺しづい
渡辺しづい



■最近の活動 春のプロジェクト

関川村のプロジェクトも含め、春プロが無事終了しました。春プロは、雪原カーニバル中里、3・11プロジェクト、里山保全活動、長岡市栃尾地区の裸押し合祭やほだれ祭がありました。やはり、活動ができたということは地元の方々のおかげで、活動する事ができたということです。本当に、支えられて活動できていると実感することができました。改めて、御礼申し上げます。

この春もまた、全国各地に元気を置いてくれることができました。今年度も残り少ないですが、IVUSAの活動はまだ続きます。



IVUSA学生の声



横山 昇平
(立命館大学 4年)

Q 関川村での活動に参加しようと思ったきっかけは??

A きっかけは単純で、班長さんに「1年生の春プロジェクトか行かへんの?」

って言われて「どこも行かないです」と答えたのですが、「どもんご祭りが雪原カーニバルのどつちかに参加してみいや」と言われたのがきっかけです。

Q 参加前と参加後で変わった事は?

A 参加前はどもんごがIVUSAに入ってから初プロだったので、不安もありましたが関川村ってどんな場所ってどんなところかなと楽しみでした。参加後は関川村の方々の温かさや、お酒のあいしさなど毎年行く度に魅力が増えていき、4年間ハマりました(笑)

Q 今後関川村とどう関わっていききたい?

A この前に役場でインターシップをさせていただいて関川村役場で働くのもいいなって思いました(笑)

OB・OG になっても社会人になったとしても休みが空けば帰りたいと思っています。

せきかわ文芸

せきかわ山柳会作品「緩む」「パッと」

吹雪く日に集いて部屋は暖かく
軸替えていよよ我が家も雛かざり:
嬉しさの一つに日脚のびしこと

春一番吹きて近づく春を待つ

近づきてまた遠のきて巡る春

冬一夜雪原に舞う雪ほたる

初午の太鼓の音の春を呼ぶ

雪原に湯気立つごとき春の雨

靴底の土の温みを楽しめり

春一番花売る店の賑わいて

卒業や手取り肩抱き友と友

ばらばらと写真の散りて春の雪

春よ来い雪の下から落のとう

泣く子より聞くに耐えない親の声

結婚で唯一学んだ耐えること

緊張が一度に緩む合格点

愛犬も機嫌悪いと寄りつかず

好き嫌い遠慮会釈もないペット

合格に子より親が荷を下ろす

列島の長さよ吹雪と桜咲き

杖立てて長い道のり振り返る

甘辛も耐えた人生牛歩なり

病みてよりドクターまかせの日を過ごし

アルバムに残るハワイの夫婦旅

洪谷 くに

洪谷 くに

洪谷 くに

伊藤 久恵

伊藤 久恵

伊藤 久恵

南 セツ

南 セツ

南 セツ

青木 慶一

青木 慶一

青木 慶一

渡辺しづい

渡辺しづい

渡辺しづい

南 セツ

南 セツ

南 セツ

平田 千恵

平田 千恵

平田 千恵

本間 イミ

本間 イミ

本間 イミ

戸籍の窓

● 2月16日～3月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

あや は 綾 葉ちゃん(女) 下土沢 田村 聖・春菜さん
かな 奏 ちゃん(女) 桂 須貝 和幸・直子さん

ごめい福をお祈りいたします

渡邊 得治 さん	69歳	小和田
伊藤 セツ さん	91歳	沼
伊藤 武雄 さん	57歳	田麦千刈
山口 虎志 さん	80歳	松 平
近 キミ さん	87歳	宮 前
高橋ミユキ さん	91歳	下 関
石山 敬一 さん	88歳	下川口
大沼 サト さん	90歳	上土沢

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

平成25年2月末現在 ()は前月対比

世帯数 2,028世帯(+1)
総人口 6,467人(-16)
男 3,080人(-5)
女 3,387人(-11)

(転入 3人 転出 12人)
(出生 0人 死亡 7人)

編集室から

▶ 4月ですね。入園・入学・進学・就職など、それぞれの新年度がスタートしました。毎年、4月を迎えると職場内の異動で課内の顔ぶれも変わり、少～しだけ新鮮な気持ちになります。そして、この気持ちの変化が自分自身を前向きにしてくれます。日々、さまざまなことがあって常に前向きな気持ちを持ち続けることは大変なことかもしれませんが、ネガティブにならないよう今年度も頑張りたいと思います。(あ)

キラリ輝く☆せきかわっ子たち vol.17

今月は、スポ少陸上部でキャプテンを務めている平田那奈さん(6年・松平)を紹介します!



親に勧められ、小学2年生から陸上を始めた那奈さん。「練習した分、タイムが縮まるので楽しい」と話す那奈さんは、とても明るく元気がいいキャプテンです。

⑥ チームメイトから見た那奈さんは?

- ・足が速くて、体力がある
- ・すぐくおもしろくて、ムードメーカー的存在
- ・AKB48が大好き!

⑥ 監督の船山勝雄さん(勝蔵)から那奈さんへ

特別強化選手として村上高校陸上部の練習に参加しています。実力もついてきているので活躍が期待できます。
みんなのお手本になるような選手になってください。

⑥ 10年後の自分は?

100Mでオリンピックに出場できるような選手になりたい。



7月に開催される県大会で優勝し
全国大会に出場したい!

わが家の人気者

須貝 出さん 里恵さん(高田)

佑生 ちゃん(8歳)
ひる 陽 ちゃん(6歳)



佑生は、ちゃんと陽央の面倒を見てくれるやさしいおにいちゃんです。

陽央は、甘えん坊で愛嬌があり、家族を和ませてくれます。

ふたりはよく喧嘩をするけれど、いつもくっついて仲良く兄弟です。これからも仲良く、元気に育ってほしいね。